

2024年1月31日

パリ2024パラリンピック競技大会日本代表選手選考基準

一般社団法人日本パラサイクリング連盟

表記大会の候補選手選考については、以下の基準を基に強化・育成部会が選考し、理事会での承認を経て、日本パラリンピック委員会に推薦する。

【共通基準】

下記基準を満たす者を選考対象とする。

1. 公益財団法人日本パラスポーツ協会、日本パラリンピック委員会の「パリ2024パラリンピック競技大会 日本代表選手団編成方針及び選手・スタッフ選考基準」を満たしているもの。
2. 本連盟強化指定選手である者。
3. 日本自転車競技連盟が発行するUCIライセンスを所持していること。
4. 2024年12月31日時点で14歳以上である者。
5. 国際的なクラス分けにおいて、C または FRD（「確定」またはパラリンピック競技大会の翌年を期間とする「指定期間付 R ステータス」）に指定されたパラサイクリング国際生活機能分類（ICF）を有していること（タンデム・パイロットには適用しない）。
6. 2022年1月1日以降2024年5月末日までの間に、最低でも1回はUCI国際パラサイクリング競技大会（世界選手権、ワールドカップ）に参加していること。
7. 日本代表としてふさわしい言動・態度を備えている者。
8. 強化の方針・指示に従う事を承諾した者。

共通基準(3)、(4)については、選考時に満たしていない者でも、2024年5月末日までに確実に満たすことが見込まれる選手についても選考対象とする。

【選考基準】

国別参加枠数が決定次第、共通基準を満たす者のうち、国別参加枠数決定までの期間の成績により、以下の通り選考する。選考基準となる大会は2022年1月1日～2024年5月末日までに開催された世界選手権トラック及びロード、ワールドカップロードの大会が対象となる。

また、2022年12月末に発表された地域別の参加枠が獲得できた場合には選考基準を満たす選手について「内定」を出すこともある。

1. 世界選手権トラック及びロードにてメダルを獲得した選手。
2. 世界選手権トラック及びロードにて8位入賞した選手。
3. ワールドカップロード大会にてメダルを獲得した選手。
4. ワールドカップロード大会にて8位入賞した選手。

なお、それぞれ該当する選手が複数いる場合は、それぞれの大会での順位、パリパラリンピックにて適用されるクラス混合および係数（UCI規則16.1.005）を考慮し、メダル獲得、入賞可能性の

ある種目数、順位等がより高い選手を選考する。

《補欠選手について》

上記基準にて選考されなかった選手を対象に、男女1名ずつ補欠選手を選考する。
補欠の選手が複数該当する場合は、パラリンピックにて入賞する可能性がある選手を優先する。

《タンデムパイロットについて》

視覚障がいBクラスの選手が選考された場合、パイロットとなる選手を別途選考する。
UCI規則(16.3.003、004、005、006)を満たし、かつ選考されたBクラスの選手とペアを組みポイントを獲得し、パラリンピックにて入賞可能性があるパイロットを優先する。

《該当する選手がいない場合》

参加枠を複数獲得した場合でも該当する選手がいない場合は参加枠をIPCへ返上することもある。

【選考除外】

以下の選手は選考から除外する。

1. アンチドーピング規定に従わない者。
2. 強化の方針・指示に従わない等、チーム行動に不適格と見なされる者。
3. 代表として不適格な言動・態度が認められる者。

【不服申し立て】

選考結果に対する不服申し立ては、公表後7日以内に、当連盟事務局に対して電子メールにより行うことができる。当連盟は、連盟内に設置するコンプライアンス委員会により処理する。なお、日本スポーツ仲裁機構の「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁は、それに従う。

【参考資料】

公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会のパリ 2024 パラリンピック競技大会 日本代表選手団編成方針及び選手・スタッフ選考基準
[パリ 2024【編成方針及び代表選手選考基準】20230706 周知.pdf \(parasports.or.jp\)](#)

PARIS2024 PARALIMPIC CYCLING QUALIFICATION GUIDE:

[2022_06_17_CYC_QR_Paris_v.2.pdf \(ctfassets.net\)](#)

係数表

[70c37c67c8d5662c094838058d88f0fe.pdf \(jcf.or.jp\)](#)